



第110号 2026年4月1日発行

〒770-0855 徳島市新蔵町2-24 徳島大学 日亜会館3階
TEL (088)602-0151 FAX (088)602-0152 E-mail toku-sc@ouj.ac.jp巻頭
言

放送大学バーチャルラーニングコモンズのご紹介

徳島学習センター所長 橋爪 正樹



2025年度第2学期に放送大学をご卒業された皆様、誠におめでとうございます。学ぶことの喜びを体験されたかと思いますが、今後も学びを継続してください。また、2026年度第1学期に入学された皆様、入学おめでとうございます。再入学された方々も、心機一転、新たな学びに挑戦してください。

放送大学は「いつでもどこでも誰でも学ぶことができる大学」を謳う大学です。放送授業はテレビやラジオ以外にインターネットでも受講できます。それに加え、対面で授業を行う面接授業、オンライン授業やライブWeb授業などのインターネットを使った遠隔授業も提供しています。

大学でのキャンパス生活では勉強だけでなく学生同士の交流も重要で、その交流は面接授業や学習センターでのサークル活動が可能です。放送大学ではそれ以外に、昨年、アバターでインターネット上の仮想空間でキャンパス生活ができるように「放送大学バーチャルラーニングコモンズ」(放送大学VLC)も開設しました。そこには右図のように教室以外に面談室、会議室、クラブ室、自習室が設けられ、放送大学生はシステムWAKABAへのログインIDとパスワード入力無料で利用可能となっています。徳島学習センターのウェブのトップページに放送大学VLCへのリンクを貼っていますのでそこから入ってください。

放送大学VLCでは通路で3人までなら自分のアバターを他人のものに重ねるだけで「テレミート」と呼ぶビデオ通話か

できます。クラブ室や面談室では席に座っただけでその部屋にいる人とテレミートができます。教室や会議室ではZoom会議も可能となっています。

フィールドワークを伴う面接授業ではフィールドワーク時に他の学生と交流することができます。そこで知り合った学生さんにキャンパスメールで時間と放送大学VLC内の待合場所を伝え、その時間に放送大学VLCに入ったらアバターを相手に重ねテレミートを開始してください。その後、空いている談話室やクラブ室に入り、交流を深め、学生生活を楽しませてはいかがでしょうか？



放送大学VLC1階の集合学習フロアの全体図
なお、放送大学VLCは放送大学次世代教育研究開発センターの研究プロジェクトとして採択され設置されています。

開所日及び
開所時間
変更のおしらせ

2026年4月より 開所日及び開所時間は次のようになります。
ご協力の程よろしくお願いたします。

事務室 水～日 9:20～17:50
視聴学習・図書室 水～日 9:20～17:40

*閉所日が月曜・火曜・祝日となりました。



2026年度からの変更点について、大学本部・学習センターからの通知(メールも含む)やWebページでのお知らせなどをご確認ください。ご不明な点がございましたら、学習センターまでお問い合わせください。

自身の価値観を掴んでいく

客員教員今井 芳枝

令和7年度厚生労働省委託事業「人生の最終段階における医療・ケア体制整備事業」における「本人の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会」が実施されています。この研修会は今まで、主に医療機関から医師を含む多職種の方が参加される「基本プログラム」と、主に在宅医療・介護従事者が参加される「在宅医療・介護従事者版」の2つに分かれて実施していましたが、より施設間、職種間の視点の違い等を理解し、多職種で協働した意思決定支援の方法を学ぶ研修とするため、2つの研修を統合して実施するようになりました。この研修の目的と開催の経緯の背景には、人生の最終段階における医療・ケアについては、医療従事者・介護従事者等から適切な情報の提供と説明がなされた上で、本人が家族等および医療・介護従事者等と話し合いを行い、本人の意向を尊重した意思決定に基づき、進めることが重要であることに基づいております。研修会の中では、人生の最終段階にある本人が持つ価値観を引き出し、それを医療・ケアに反映できるようにするためのスキルを学ぶ内容になります。昨日その研修会のファシリテーターをしましたが、参加された医師、看護師、介護士、社会福祉士、臨床心理士、理学療法士、薬剤師、精神保健福祉士、医療福祉相談員、生活相談員等の職種間で本人の意思決定の支援を話し合いました。医療従事者みなさん真剣に人生の最終段階における医療・ケア体制を整えていくために全国で取り組んでいます。

さて、あなたは自分自身の価値観をどのように把握されていますか？普段の生活から、自身の価値観に基づき行動を起こされていると

思います。その自分の持つ価値観を人生の最終段階における医療・ケアに活かすとすると、どのような内容になるでしょうか？このような考え方をアドバンス・ケア・プランニング(advance care planning; ACP)ともいわれます。人生の最終段階を自分のこととして考える時期に来た時に、自身の価値観を踏まえて考えていくためにも、自身の価値観を見直す時間をとることは有用だと思います。私のがん看護のゼミでは、このような内容も取扱いながら、自身の価値観に向き合う時間をとっております。ご関心がある方は是非ゼミに来られてください。お待ちしております。

人生の終わりで、あなたは、どのように、過ごしたいですか？
もしものときに、**「人生会議」**
～自ら選び、人生の最終段階の医療・ケアについて話し合ってみませんか～
(1) 1830E (2) 1830E (3) 1830E (4) 1830E

話し合いの重要性 (前)

誰でも、いつでも、急に変わる大きな病気やケガが起きる可能性があります。

あの医療が進った状態になると、**約70%の方が、医療やケアなどを自分で決めたり、誰かの人に伝えたりすることが、できなくなると言われています。**

自分が希望する医療やケアを受けるために大切なことは、**事前に自分の意思を伝えておくこと、周囲の理解を得ること、共有することが重要。**

もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する価値を「人生会議 (ACP: アドバンス・ケア・プランニング)」と呼びます。

あなたの人生の最終段階に、かかりつけ医療者からあなたや家族等へ適切な情報の提供と説明がなされることが重要です。

このような情報は、個人の主体的な意思に基づいて考え、決めるものです。知ることが、それだけでいいという十分な知識が必須です。

詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。
https://www.mhlw.go.jp/stf/newspage_02783.html

厚生労働省
「もしものときに、どうしたいか」は、変わっていくことがある。

どのような生き方を望むかは、一人ひとり異なるもの、また、ライフステージとともに変わっていくこともあります。

人生の最終段階において、あなたはどのように過ごしたい医療やケアを受けたいと思いますか？あなたが希望する医療やケアについて、事前に自分の意思を伝えておくこと、周囲の理解を得ることが、それだけでいいという十分な知識が必須です。

人生会議 アドバンス・ケア・プランニング (ACP) は、あなたが望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する価値を「人生会議 (ACP: アドバンス・ケア・プランニング)」と呼びます。

あなたの人生の最終段階に、かかりつけ医療者からあなたや家族等へ適切な情報の提供と説明がなされることが重要です。

詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。
https://www.mhlw.go.jp/stf/newspage_02783.html

あなたは、「もしものこと」を考えたことがありますか？

人生会議 (ACP) 普及・啓発ポスター

卒業研究報告会を開催しました。

3月8日(日)、徳島学習センター講義室で卒業研究に合格した4人の学生を招いて卒業研究報告会を開催しました。VLC(バーチャルラーニングコモンズ)と対面で開催し、参加者は会場で9人、VLCで3人でした。

2024年度・2025年度に履修した報告者に、卒研に取り組んだ体験を、まだ研究をしたことのない学生に語っていただきました。前半は質問も含め各報告者が15分ほど報告し、所長からも各報告ごとにコメントをいただきました。後半は、柳本同窓会会長の司会のもと



4人が並んでの対談を行いました。前・後半ともにフロアからの質問も活発で・事後の交流もあり、熱のこもった報告会となりました。

聴講した学生の感想から

- 仕事をこなしながら、卒論を仕上げたことに敬意を評したいです。何か研究のテーマが見つければ、近い将来チャレンジしたいです。(新井義治さん)
- 発表者さまの内容が多様であったので、大変勉強になりました。(Hさん)

報告者にインタビュー

事前にインタビューシートに記入したもものから抜粋

- ◆研究に取り組むきっかけ
山中さん：面接授業での議論を通じて、インプットするだけでなくアウトプットしたい。
- 内田さん：実践的に学び、将来の大学院進学も視野に入れたい。
- 桑村さん：自分の感覚が正しいのか検証したい。
- 三浦さん：心理資格取得のため大学院進学をめざしている。

- ◆研究してよかったこと
山中さん：疑問について納得するまで調べる楽しさを知った
- 内田さん：一つの問いが次の問いを生む研究の意味を実感。
- 桑村さん：感想ではなくエビデンスの重要性を理解した。
- 三浦さん：アウトプットを通じて学びが深まった。

(次ページに続く)

報告者にインタビュー

◆苦労したこと

山中さん:研究の進め方や表現の難しさ。
内田さん:新視点の既往研究発見による課題の見直しという何度もの試行錯誤をした。
桑村さん:調査参加者や協力施設との協力体制づくり、結論への論理的つながりをつけること。
三浦さん:文献収集・整理。

◆在籍生へのメッセージ

山中さん:苦しみの先にある喜び。
内田さん:積み重ねが形になっていくことの大切さ。
桑村さん:先行研究の徹底、目的のブレなさ、書いたものを何度も読み返すこと。
三浦さん:指導教官と一緒に研究する仲間の協力体制の大切さ。

◆インタビュー全体から

研究過程は容易ではなく、放送大学の卒業要件でもありませんが、卒業研究はアウトプットするための学びであり、自らまなびの方法を確立するための学びであることがわかりました。指導教員やゼミ仲間の支援を得て、深い学びを体験できる機会であることも示されました。

2025年度第2学期 ご卒業おめでとうございます。

2025年度第2学期で17名の方が卒業されました。

新たに学位記を授与された皆様にセンター職員一同お慶びを申し上げます。

生活と福祉コース 上原 正子、岡田 麻友美、北岡 克裕、桑村 篤実 (ほか1名)

心理と教育コース 植村 一仁、内田 千夏、佐藤 仁治、三浦 富喜、村田 竜洋
(ほか 3名)

人間と文化コース 木村 卓司、村本 温子、安原 純子、吉平 勇介

卒業生からの メッセージ (敬称略・順不同)

放送大学で心理学を専門家の先生方から学び、知識だけでなく視野も大きく広げることができました。年齢や背景の異なる受講生の方々との出会いを通して、いくつになっても学ぶ喜びは尽きないことを実感しました。面接授業では他県にも足を運び、異なる環境で学ぶ楽しさも味わいました。難しいと感じていた卒業研究にも挑戦し、指導教員や仲間の支えで完成できたことは大きな自信となりました。在学生の皆さんも、それぞれのペースで学びを楽しみながら、一步一步積み重ねていってほしいと思います。(心理と教育 内田 千夏)

高校生の頃から関心のあった心理学を体系的に学び、認定心理士に必要な科目も履修しました。また卒業研究では川西先生、橋爪所長、ゼミ生の内田さん、そして家族の支えにより最後まで取り組むことができました。放送大学での最大の収穫は、共通の関心をもとに対話できる方々との出会いです。今後も心理学を軸に、社会に活かせる学びを継続していきたいと思っています。ありがとうございました。(心理と教育 三浦 富喜)

無事に、4回目の卒業できることになりました。仕事に関係する科目を多く履修することができました。知らなかった言葉を覚えることがだんだん難しくなってきましたが、他の専攻に挑戦したいと思います。先生はじめ、事務所の職員皆様、よろしくお願ひ致します。(人間と文化 安原 純子)



「心理と教育コース」に再入学して、2年で卒業でき、また、認定心理士の資格を取得できました。徳島学習センターで、気持ち良く、楽しく勉強させて貰い、感謝しています。今後は5コース目の「生活と福祉コース」に再入学しますので、よろしく、お願ひします。(心理と教育 植村 一仁)

社会人になってから、縁あって改めて、学びの機会を得られたことは、私にとって非常に充実した時を過ごすことに繋がったと思っています。在学中は独学での勉強時間が多いなか、面接授業で各地の学習センターに足を運んだ経験は、私にとって学生時代の講義を思い出させてくれた。懐かしくも楽しい時間を過ごすことが出来ました。これからも生涯教育の一環として、学びの時間を持ち続けたいと思っています。(心理と教育 村田 竜洋)

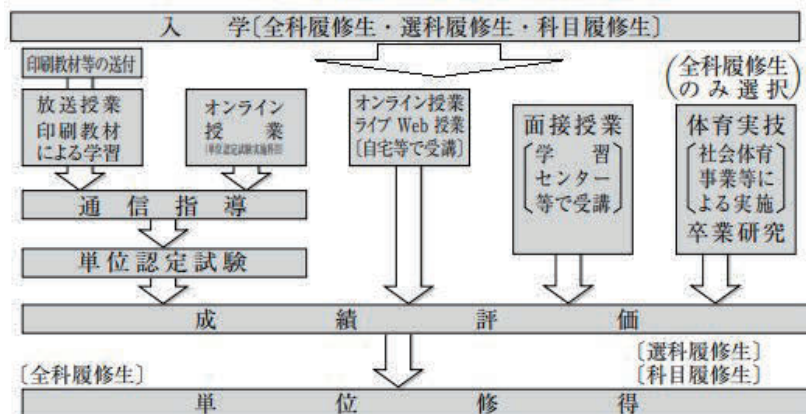
放送大学に入学書類を提出後に、久しく見ることのなかった「合格通知」に口元が緩んだことを覚えています。ここで得られた学びはとても充実した機会でありました。仕事と勉強は日々忙しく、単位認定試験前には、くじけそうになることもありました。今は、卒業する寂しさを感じるとともに、今後も学びは続けたいと考えています。皆様がご自分のゴールに向かって進まれることを、心より応援しております。(生活と福祉 桑村 篤実)

今年度、初めての卒業です。放送大学は自分のペースで学習ができるのが良い所だと思います。来年から別のコースに入学します。引き続きよろしくお願ひいたします。(生活と福祉 岡田 麻友美)

今年度、7年かけて放送大学を卒業し認定心理士を修得しました。学生生活を振り返り、いろいろあったが4月から気持ちを入れ替えて継続入学して、公認心理師の選考試験突破を目標としています。他の方とは交流なかったが、4月からはカウンセラーを夢見る立場を意識して新しいコースで頑張ろうと思います。学生の皆さんも決めた目標に向かって頑張ってください。またお会いしましょう。(心理と教育 佐藤 仁治)

2026年度1学期の学習が始まりました。

学習の流れ



授業形態によって進め方が異なっておりますので、学習スケジュールを確認の上、学習を進めてください。

「学生生活の葉」やWebページなどを確認して、ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

面接・ライブWeb授業追加登録のお知らせ

第1学期面接授業 徳島学習センター

★印の科目は日程の都合上追加登録はできません

科目区分	科目名	担当講師名	定員	日程	BYOD
専門	生活と福祉 老年看護学概論	★ 南川 貴子	30名	4/18(土)・4/19(日)	
専門	社会と産業 現代のフードシステムを考える	★ 橋本 直史	50名	4/18(土)・4/19(日)	
専門	生活と福祉 持続可能な住環境を考える	★ 池添 純子	30名	4/25(土)・4/26(日)	
専門	社会と産業 空気圧駆動システムの制御と応用	★ 高岩 昌弘	50名	4/25(土)・4/26(日)	
基盤	外国語 休暇や旅行に関する基礎英会話	勝藤 和子	50名	5/9(土)・5/10(日)	
導入	情報 生成AIの仕組みと使い方	石田 基広	30名	5/9(土)・5/10(日)	
専門	心理と教育 心理検査法基礎実習	川西 智也	20名	5/16(土)・5/17(日)	
専門	自然と環境 「大歩危小歩危」の地質探訪	石田 啓祐	20名	5/16(土)・5/17(日)	
基盤	一般科目 新・初歩からのパソコン	中山 慎一	7名	5/23(土)・5/24(日)	
導入	人間と文化 西洋の音楽史	英 美 生	50名	5/23(土)・5/24(日)	
専門	心理と教育 教育政策	櫻井 直輝	50名	5/30(土)・5/31(日)	
専門	社会と産業 eビジネスを知る	長沼 次郎	50名	6/13(土)・6/14(日)	
専門	心理と教育 心理学実験3	川野 卓二	20名	6/20(土)・6/21(日)	○
専門	人間と文化 土地に刻まれた開発の歴史	平井 松午	50名	6/27(土)・6/28(日)	
専門	生活と福祉 歯周病について学ぶ	湯本 浩通	50名	7/4(土)・7/5(日)	
専門	生活と福祉 家族看護学	鈴木 智子	50名	7/11(土)・7/12(日)	

※4月18日～30日の間に授業が始まる科目については、業務の都合により原則として追加登録の対象外となります。ただし、一部の学習センターでは、先着順で追加登録を受け付ける科目もあります。対象科目や申請方法については、面接授業ウェブサイトや各学習センターのウェブサイトでお知らせします。【4月初旬より随時公開】

第1学期ライブWeb授業 徳島学習センター

★印の科目は日程の都合上追加登録はできません

科目区分	科目名	担当講師名	定員	日程	時限
専門	情報 IoT活用技術入門	★ 辻 明典	20名	5/9(土)・16(土) ・23(土)・30(土)	3・4 時限
専門	情報 プロのソフトウェア開発工程管理	川口 進	40名	6/6(土)・13(土) ・20(土)・27(土)	1・2 時限

2026年度第1学期面接授業・ライブWeb授業 追加登録について
「2026年度第1学期面接授業開設科目一覧」P.10～14参照

面接・ライブWeb授業追加登録の流れ

① 空席発表

発表日時	空席状況の確認方法
4月17日(金)15時	A:学習センター/サテライトスペースにある掲示板で確認 B:放送大学トップページ→在学生(WAKABA)→システムWAKABAへログイン→学内リンクの「面接授業(第1学期)のページ」→お知らせの「空席状況のお知らせ」

② 事前申請受付 開設する学習センターごとに受付

事前申請の受付	申請方法
4月17日(金)15時から 4月22日(水)13時10分 まで	次のいずれかの方法により申請 A:Googleフォームから申請 各学習センターWebサイトの「お知らせ」を参照 B:学習センター窓口で申請 ・追加登録申請書 ※追加登録申請書の郵送も可能ですが、その場合は4月22日(水)午前必着



当選科目の連絡	連絡方法
4月23日(木)	キャンパスメールへ「抽選結果」についてお知らせ



授業料納入	授業料納入方法
4月28日(火)15時まで ※落選した科目は受付できません。 ※キャッシュレス決済支払確定後の返金・キャンセルはできません。(ただし、閉講等あった場合の授業料は後日、銀行等振込による返金に応じます。)	当選科目がある方へは、授業料決済用URLがキャンパスメールへ届きます。 学習センター窓口でのキャッシュレス決済、もしくはメール型決済で支払 ・所定の授業料・事務手数料 授業料:1科目6,000円×当選科目数(2単位科目は12,000円) 事務手数料:1科目200円×当選科目数 ※現金(現金書留、郵便小為替を含む)の取扱いはありません。

③ 先着申請受付 (事前申請で満席とならなかった科目)

空席確認	空席状況の確認方法
4月23日(木)15時以降	A:学習センター/サテライトスペースにある掲示板で確認 B:放送大学トップページ → 在学生(WAKABA) → システムWAKABAへログイン → 教務情報 → 科目登録申請 → 空席照会 → 希望の科目を検索



申請	申請方法
4月23日(木)15時から 原則として開講日の7日前まで ※期限を過ぎた場合は、受付できません。 ※追加登録受付期限前でも、定員に達し次第受付を締め切ります。	先着順に受付 開設学習センターへメール・電話・窓口等で申請、追加登録可能であれば受理 学習センター窓口もしくはメール型決済で支払 ・所定の授業料・事務手数料 授業料:1科目6,000円×当選科目数(2単位科目は12,000円) 事務手数料:1科目200円×当選科目数 ※現金(現金書留、郵便小為替を含む)の取扱いはありません。 ※支払期限:決済用URL送付から5日後15時まで。 ただし、追加登録受付期限日間の申請の場合は、支払期限が短くなります。

通信指導は原則Web提出です。

「Web通信指導」による提出を基本とし問題冊子の送付はありません。郵送提出科目のみ「郵送提出」により実施します。なお、履修科目の通信指導問題は4月上旬に授業共有ファイル(システムWAKABA→授業サポート→授業共有ファイル)にアップロードされます。

郵送提出科目 「市民自治の知識と実践(’21)」「日本美術史の近代とその外部(’18)」
 「日本政治思想史(’21)」「空間と政治(’22)」「文学批評への招待(’18)」

通信指導を提出しなければ単位認定試験の受験資格は得られません。必ず期限内に提出してください。
 ※パソコン・ネットワークのトラブルや郵便事情により間に合わなかった場合でも未提出扱いとなります。
 余裕をもって取り組んでください。

提出期間	Web通信指導:2026年5月 7日(木)10:00～5月27日(水)17:00 郵送:2026年5月13日(水)～5月27日(水)必着
通信指導問題	4月上旬にシステムWAKABAの授業共有ファイル(システムWAKABA→授業サポート→授業共有ファイル)にアップロードします。
Web提出が困難な方へ	「単位認定試験受験場所変更願」で受験場所を「学習センター」にして提出すると、問題一式が送付されます。4月15日(水)必着で提出した場合、4月下旬までに問題が届きます。
提出状況の確認	Web通信指導トップページ画面において「科目一覧」の各科目の欄内に「提出済(送信済)」と表示されます。システムWAKABAの画面は、目安として提出(送信)した日の翌日か翌々日に「受理」と表示されます。
自習型問題の解答・解説	通信指導の答案を期限までに提出した方には、自習型問題の解答・解説が通信指導の添削結果とは別便で送付されます。 6月24日(水)までに届かない場合は大学本部へお問い合わせください。
評価	提出された答案は添削され、結果が送付されます。通信指導に合格すると、当該科目の単位認定試験の受験資格が得られます。【添削結果返送時期】2026年6月末～7月上旬 ☆7月10日(金)までに届かない場合は大学本部にご連絡ください。

単位認定試験について

単位認定試験はWeb受験方式(一部の科目は郵送受験方式)で行っております。試験期間中は、24時間いつでもご自宅等で受験できます。

◆郵送受験の科目【「行政学講説(’24)」「正多面体と素数(’21)」「日本美術史の近代とその外部(’18)」「量子化学(’19)」】については、Webは利用しないため、学習センターでの受験は実施しません。

自宅での受験が困難な方の
学習センター受験について

ご自宅にインターネット環境がない、またはパソコン操作が困難等の事情により、自宅等でのWeb受験が困難な方は、次の様式・期間・宛先に申請の上、学習センター等で受験できます。

受験時に自分で操作できるように、必ず体験会に参加してください。

◆申請様式◆「単位認定試験受験場所変更願」

◆申請期間◆2026年 4月 1日(水)
～5月27日(水)必着

◆申請宛先◆

〒261-8586 千葉市美浜区若葉2-11
放送大学学務部学生課 単位認定試験係

モバイル端末での受験について

モバイル端末(タブレット、スマートフォン)でも基本的には受験可能ですが、文字のサイズやレイアウトが機種によって異なりますので必ず、受験に使う機材で体験版を操作し、解答提出ができるか確認しておいてください。

単位認定試験体験版

Web単位認定試験の提出までの操作を体験できる「Web単位認定試験体験版」を公開しています。解答提出までの操作方法や、ご自身の受験環境での動作を確認するために、事前に体験版で操作しておいてください。

単位認定試験

操作体験会のご案内

学習センターで単位認定試験操作体験会を開催します。(7月に開催予定)

◆センターで受験される方は必ず体験会にご参加ください。

◆自宅での受験に不安がある方も参加いただけます。

ご希望の方は電話にてお問い合わせください。